10月20日(火)、新潟大学　理事・副学長　新潟大学脳研究所　臨床神経科学部門　神経内科学分野　教授　小野寺理先生をお招きして、特別講演「一人の患者さんから学ぶことーRVCLを通して考える日々の観察の意味ー」を開催、当院はもちろん、法人本部ならびに周辺施設の職員が参加、96名が聴講いたしました。

講演会では病理学が診断・治療において大きな役割を果たすこと、日々の経過観察や僅かな変化を共有する意味をお話しいただきました。私たちが行う診療・看護・介護が病理診断につながることに大変勇気づけられ、あらためて、日々患者様から学ばせていただいていることを認識いたしました。小野寺先生には貴重な機会をいただきましてありがとうございました。今後も患者様のため、脳神経難病の原因究明および治療法につながるよう努めてまいります。

職員一同











